

Kemal Gekic

ケマル・ゲキチ ピアノ・リサイタル

Piano Recital

令和5年 **6.3** **土**
13:30 開場 14:00 開演

プログラム(予定)

ショパン名曲集

- ワルツ第1番 変ホ長調 Op.18《華麗なる大門舞曲》
- ワルツ第6番 変ニ長調 Op.64の1《小犬のワルツ》
- エチュード第3番 ホ長調 Op.10-3《別れの曲》
- ポロネーズ第6番 変イ長調 Op.53《英雄》 ほか

リスト名曲集

- 3つの夜想曲 第3番 変イ長調《愛の夢》
- 巡礼の年 第1年 スイス 第4番《泉のほとりで》
- ハンガリー狂詩曲 第2番 嬰ハ短調
- パガニーニによる大練習曲第3番《ラ・カンパネラ》 ほか

倉敷市芸文館 ホール

住所:倉敷市中央1丁目18番1号 電話番号:086-434-0400
 交通案内 JR倉敷駅(山陽本線)から徒歩15分/バス中央2丁目下車すぐ

全席指定 一般 **4,000円** 大学生以下 **500円** (当日は各500円増)

※就学前のお子様の入場はご遠慮ください。※前売で完売した場合は、当日券の販売はありません。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため以下の点にご理解とご協力をお願い申し上げます。
 ●発熱・咳などの症状のある方、体調に不安のある方はご来場をお控えください。
 ●会場内ではマスクを着用し、できるだけ会話はお控えください。
 ●入場口・お手洗いなどでお並びの際、一定間隔の確保をお願いします。
 ●こまめな手洗いや手指消毒・検温などにご協力をお願いします。
 ●会場内でのご飲食はご遠慮ください。(水分補給は除く)
 ●社会情勢の変化により公演内容変更や延期・中止となることがありますのでご了承ください。
 公演の最新情報はアルスくらしき公式ホームページでご確認ください。

チケットのお求め、
お問い合わせは

アルスくらしきチケットセンター
倉敷市芸文館1階事務所内

TEL.086-434-0010 営業時間 9:00~17:00 (水曜日は休み)

●インターネット予約 <https://arsk.jp/>

●チケット取扱いプレイガイド

岡山シンフォニーホールチケットセンター

チケットぴあ	Pコード 236-701	https://t.pia.jp/
ローソンチケット	Lコード 63722	https://l-tike.com/

発売日 会員先行 **3月10日(金)** 一般発売 **3月17日(金)**

〈主催〉倉敷市・倉敷市文化振興財団
 〈共催〉倉敷市教育委員会



アルスくらしき

Kemal Gekić

Piano Recital

ケマル・ゲキチ Kemal Gekić

Profile

62年クロアチア生まれ。78年ユーゴスラビアのノヴィサッド音楽院でミハイロヴィチのクラスに入学。82年史上最高得点でディプロマを取得後ピアノ科の教員に採用される。81年リスト国際ピアノコンクール第2位。85年ショパン国際コンクールにて一大センセーションを起こす。この時の演奏に対しハノーヴァーのショパン・ソサエティから最優秀ソナタ特別賞を授与され、その録音はドイツでその年だけでも6万枚、日本で8万枚を売り上げた。その後ヨーロッパ、日本、カナダ、ソビエト、中東でツアー。彼の演奏と半生を綴ったドキュメント番組はイタリア国営放送、CBC、NHK等で放映され、大きな反響を呼んだ。90年代、ゲキチは突然演奏活動から身を引き、集中的に練習に没頭する。この充電期間の成果の一つが「超絶技巧練習曲全曲集」(ビクター)であり、このCDでゲキチはリストの第一人者としての不動の地位を確立。続く「ロッシーニ=リストのトランスクリプション集」(ナクソス)では、Penguin Guide to Musicからロゼッタ賞を授与。99年のユーゴ紛争の後、現在フロリダ在住。フロリダ国際大学教授。

～ショパン・コンクールでの衝撃～

第11回ショパン国際ピアノコンクール(85年ブーニン優勝時)、そのあまりにも強烈な演奏に審査が分かれ、ゲキチはファイナリストに選ばれず、これに抗議した審査員が次々に審査を辞退するという、前代未聞の事件が勃発。会場の聴衆からも圧倒的な支持を得たゲキチは、このセンセーションにより一躍世界に名を馳せた。

‘これまでどんなピアニストも到達したことのない境地へあえて踏み込む’これこそがゲキチのモットーであり、いわゆるスタンダードな解釈を彼のリサイタルで耳にすることはできない。刃物のように鋭い音楽的感性、燃えるような想像力、一方で驚くほど正確な器用さ、幅広い色彩の音のパレット、そして深さを増す作品の精神的意味の解釈にさらされた作品の真髄をまのあたりする。聴衆はその超絶技巧に感嘆し、引きつけられ、圧倒され、楽しみ、釘付けにさせられ、、、最後には忘れえない感動と衝撃を体験するのである。